

目次

第1篇 北海道地方の観光地

Introduction : はじめに

No. 1 : 北海道の観光地

第2篇 東北地方の観光地

No. 2 : 青森県の観光地

No. 3 : 岩手県の観光地

No. 4 : 秋田県の観光地

No. 5 : 宮城県の観光地

No. 6 : 山形県の観光地

No. 7 : 福島県の観光地

本資料に掲載

第3篇 関東地方の観光地

No. 8 : 茨城県の観光地

No. 9 : 栃木県の観光地

No. 10 : 群馬県の観光地

No. 11 : 埼玉県の観光地

No. 12 : 千葉県の観光地

No. 13 : 東京都の観光地

No. 14 : 神奈川県 of 観光地

第4篇 中部地方の観光地

No. 15 : 新潟県の観光地

No. 16 : 長野県の観光地

No. 17 : 山梨県の観光地

No. 18 : 静岡県の観光地

No. 19 : 岐阜県の観光地

No. 20 : 愛知県の観光地

第5篇 北陸地方の観光地

No. 21 : 富山県の観光地

No. 22 : 石川県の観光地

No. 23 : 福井県の観光地

第6篇 近畿地方の観光地

No. 24 : 三重県の観光地

No. 25 : 滋賀県の観光地

No. 26 : 京都府の観光地

No. 27 : 奈良県の観光地

No. 28 : 和歌山県の観光地

No. 29 : 大阪府の観光地

No. 30 : 兵庫県 of 観光地

第7篇 中国地方の観光地

No. 31 : 鳥取県の観光地

No. 32 : 島根県の観光地

No. 33 : 岡山県の観光地

No. 34 : 広島県の観光地

No. 35 : 山口県の観光地

第8篇 四国地方の観光地

No. 36 : 香川県の観光地

No. 37 : 愛媛県の観光地

No. 38 : 徳島県の観光地

No. 39 : 高知県の観光地

第9篇 九州地方の観光地

No. 40 : 福岡県の観光地

No. 41 : 佐賀県の観光地

No. 42 : 長崎県の観光地

No. 43 : 大分県の観光地

No. 44 : 熊本県の観光地

No. 45 : 宮崎県の観光地

No. 46 : 鹿児島県の観光地

第10篇 沖縄地方の観光地

No. 47 : 沖縄県の観光地

第11篇 その他の観光資源

No. 48 : 日本の国立公園

No. 49 : 日本の世界遺産

No. 50 : その他の項目

No.2 : 青森県の観光地



【概要】

県庁所在地は、陸奥湾に面した青森市。

観光のハイライトは、秋田県にまたがる南部の十和田湖^{とわだこ}周辺で、一年を通じて多くの観光客が訪れる。

さらに県西部の弘前^{ひろさき}周辺にも青森県を代表する観光スポットが多い。

また、西側の津軽半島や東側の下北半島にも特徴のある観光地があり、これらの位置関係を押さえておきたい。

これらに加えて知名度の高い温泉地と、各地で行われる「ねぶた」「ねぶた」という祭りが特徴。

(代表的な観光地)

[十和田湖周辺]

- 十和田湖**
 青森県と秋田県にまたがる湖。十和田八幡平国立公園の中にあり、湖上遊覧や展望台からの眺めも美しい。湖畔の御前ヶ浜には高村光太郎作の「**乙女の像**」が建っている。
- 奥入瀬溪流**
おいらせけいりゅう
 十和田湖畔の子ノ口から焼山までの約 14 km にわたる溪流。**銚子大滝**など多くの滝や奇岩・怪石があり、新緑や紅葉の名所としても知られ、四季を通じて観光客が多い。
- 八甲田山**
はっこうださん
 十和田湖の北方約 20 km にある大岳など複数の火山の総称。大岳は山麓からロープウェイを利用することができ、咲き乱れる高山植物などを眺めることができる。

[弘前周辺]

- 弘前城**
 江戸時代初期から津軽藩の居城で、東北地方で唯一の現存天守のある城。城跡は弘前城公園になっている。桜の名所でゴールデンウィーク頃には多くの花見客が訪れる。現在、平成 25 年から約 10 年の予定で石垣を修復中で、天守が移動している。
- 岩木山**
 西部の弘前市と鱒ヶ沢町にある火山。その姿から「**津軽富士**」^{つがるふじ}とよばれる。独立峰で周囲に他の山がないため津軽平野のどこからでも見ることができ、津軽のシンボリックな存在。

[津軽半島]

- 太宰治記念館「斜陽館」**
たざいおさむ しゃようかん
 五所川原市にある、作家太宰治の生家跡。赤レンガの厚い塀に囲まれた総ヒバ造りの約 680 坪の豪邸跡。現在は太宰治記念館「斜陽館」として全国からファンが訪れている。
- 龍飛岬**
たつびみさき
 津軽半島最北端の岬。津軽海峡に面し、晴れた日には北海道が見える。付近には歌謡曲「津軽海峡冬景色」の歌謡碑が建つ。龍飛崎と表し、呼ぶこともある。

【下北半島】

ほとけがうら

・仏ヶ浦

下北半島の西海岸にあり、海食作用によってできた高さ 200 ～ 300m の断崖で、如来の首、五百羅漢、蓮華岩などと名付けられた神秘的に並ぶ巨岩、奇石がある。

おそれざん

・恐山

下北半島にあり、死者の御霊を呼び寄せを行なうイタコがいる霊場として有名。慈覚大師円仁が「東へ向かうこと三十余日、霊山ありその地に仏道をひろめよ」との夢のお告げに従い辿り着いた地であると伝わる。

【その他の青森県の観光地】

さんないまるやま

・三内丸山遺跡

青森市にある約 5900 年前～ 4200 年前の日本最大級の縄文集落跡。42ha の広大な遺跡には竪穴建物跡、掘立柱建物跡などがあり、資料や出土品の展示施設「縄文時遊館」もある。

《代表的な観光資源》

【温泉】

あさむし

・浅虫温泉：青森市の東、夏泊半島の付け根にある温泉地。サーフィン・ヨット・釣り等のレジャーも楽しめる。

すかゆ

・酸ヶ湯温泉：八甲田の西麓にある温泉。1件宿にある「ヒバ千人風呂」は、その名のとおり大きな混浴湯。

おおわに

・大鰐温泉：鎌倉初期に開湯したと伝わる歴史ある名湯。江戸時代から栽培される「温泉もやし」が名物。

やげん

・薬研温泉：下北半島のむつ市にある温泉。原生林に囲まれた静かな雰囲気です。森林浴の効果も期待できる。

【祭り】

・青森ねぶた：青森市で毎年8月2～7日にかけて行われる夏祭り。巨大な灯籠（ねぶた）を山車に乗せて練り歩く。

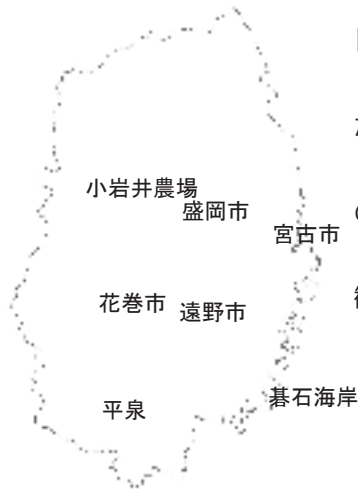
・弘前ねぶた：弘前市で毎年8月1～7日にかけて行われる夏祭り。青森よりは落ち着いた雰囲気。

【特産品・名物料理】

・じゃっぱ汁：青森の冬を代表する魚の鱈の^{ジャッパ}アヲと野菜などを煮込み、塩や味噌で味付けしたもの。

・せんべい汁：八戸市付近の郷土料理で、肉や野菜に南部せんべいを入れたもの。

No.3 : 岩手県の観光地



【概要】

太平洋側は海岸段丘や急峻なリアス式海岸が続き、雄大な景観に恵まれた岩手県を代表する観光エリア。

南部の平泉周辺は、「奥州藤原家三代」の栄華が残る地域で、義経伝説の地でもあるため、歴史ファンが多く訪れる。

また面積が広く（北海道について全国でNo.2）、ゆたかな自然や個性ある観光スポットが各地に点在していることも特徴の一つ。

（代表的な観光地）

〔三陸沿岸〕

・浄土ヶ浜

宮古市にある海岸で、三陸復興国立公園を代表する観光地。緑の松、白い岩肌、青い海のコントラストが素晴らしい。地名の由来は江戸時代の僧が「さながら極楽浄土のごとし」と驚嘆したことにあるという。

・北山崎

三陸海岸の北部にある景勝地。200mの断崖に奇岩怪石、海蝕洞窟が約8kmにわたって続くダイナミックな変化に富んだ海岸線が見事。これらの絶景を展望台から一望することができる。

・基石海岸

大船渡市の末崎半島にある変化に富んだ景勝地。海水の浸食で3つの穴（洞門）が開いた岩である穴通磯が見どころ。名称は付近の海岸に波で磨かれた黒い玉砂利が多いことに由来する。

〔平泉周辺〕

・中尊寺

平泉町にある天台宗の古刹。付近の毛越寺などとともに世界文化遺産に登録されている。国宝第1号である豪華絢爛な金色堂をはじめ、「弁慶堂」「薬師堂」「本堂」など多くの建造物があり、奥州藤原氏三代の栄華が残る。

・毛越寺

平泉町にある天台宗の古刹。奥州藤原氏の二代と三代が造営した極楽浄土を現世に再現したという浄土庭園と平安時代の伽藍遺構がほぼ完全な状態で保存されていて、世界文化遺産の一部を構成している。

・巖美溪

一関市にある磐井川中流の渓谷。エメラルドグリーンの水に奇岩、巨岩、甌穴、深淵、滝など、約2kmにわたり渓谷美が続き、名勝天然記念物に指定されている。名産品の団子も有名。

・狛鼻溪

一関市にある、砂鉄川沿いの渓流。両岸には高さおよそ100mの断崖がそびえ奇岩や滝が点在し、「東北の耶馬溪＊」ともいわれている。約2kmの渓谷を船下りで楽しむことができる。＊大分県の渓谷

【盛岡市】

もりおかじょうあとこうえん ・盛岡城跡公園

盛岡市にあった城で、城跡は現在公園になっている。別名こずかた不來方城といい、公園内には石川啄木の“不來方のお城の草に寝ころびて空に吸はれし十五の心”の詩碑がある。

いしかわたくぼく ・石川啄木記念館

盛岡市しほたけ渋民にある文学館。本館は石川啄木の生誕100年を記念して1986年に建てられた。館内では啄木のノート等の遺品を紹介している。敷地内には啄木が代用教員を務めた旧渋民尋常高等小学校等が移築されている。

いしわりざくら ・石割桜

盛岡地方裁判所の構内の大きな花崗岩の割れ目から生育した桜の木で、直径約1.35mで樹齢が360年を超えるといわれる。毎年開花を続け、国の天然記念物になっている。

【その他の岩手県の観光地】

とおの ・遠野

内陸部にあり、民話や伝承を記録した柳田國男の「遠野物語」の舞台となった町。
河童や座敷童子が登場し、遠野は「民話のふるさと」とよばれる。また、母屋うまやと厩がL字型につながった「曲り家」が多いことでも知られる。

りゅうせんどう ・龍泉洞

岩泉町にある鍾乳洞。秋芳洞（山口県）、龍河洞（高知県）とともに日本三大鍾乳洞の一つで天然記念物。未知の部分が多いが、総延長は5,000m以上と推定されている。地底湖を形成している。

こいわいのうじょう ・小岩井農場

雫石町と滝沢市にまたがる民間農場。3,000haの敷地のうち一部が観光施設として開放されていて、レストランや土産物店もある。各種の体験ツアーや動物との触れ合いなどが楽しめる。

・宮沢賢治記念館

花巻市にあり、詩人や教育者として、また「雨ニモマケズ」「銀河鉄道の夜」などの作者として知られる宮沢賢治の記念館。多彩な活動を芸術、農、化学などの分野に分けて紹介している。

《代表的な観光資源》

【温泉】

- ・花巻温泉郷：花巻の市街からやや離れた北東部にあり、宮沢賢治が設計した日時計花壇で知られるバラ園がある。
- ・つなぎ繋温泉：盛岡市の西部にある温泉。人造湖「御所湖」に面し「盛岡の奥座敷」とよばれる。
- ・げとう夏油温泉：北上市にある温泉で山の中腹の渓谷にあり秘湯の雰囲気漂う。名称はアイヌ語に由来する。

【祭】

- ・チャグチャグ馬コ：100頭近くの農耕馬が、毎年6月滝沢市から盛岡八幡宮までを鈴の音を響かせながら行進する。

【特産品】

- ・南部鉄器：主に水沢や盛岡で作られる鉄器。鉄瓶や急須が多く生産され、鉄分補給に良いとされる。
- ・わんこそば：一口大のそばを椀に入れ、満腹になるまで食べ続けるスタイルで人気がある。
- ・ウニ料理：三陸のウニとアワビを潮汁にしたものを、その形から「いちご煮」とよんでいる。

No.4：秋田県の観光地



【概要】

内陸部にある田沢湖周辺には、歴史のある名所や自然、レジャースポットが充実していて、秋田県の主要な観光地域になっている。まずこれを知ることが第一。

また、日本海側の男鹿半島の「なまはげ」をはじめとする独自の伝統文化や風習が県内に多く残っており、これらのシーズンには多くの観光客が訪れている。

名産品も、他の県に見られない特徴のあるものが多い。

(代表的な観光地)

【内陸部】

・田沢湖

仙北市にある水深 423.4m の日本一深い湖。湖面は水深が深まるにつれ^{るり}瑠璃・^{みどり}碧・^{あい}藍と変化する。湖畔には永遠の若さと美貌を願う湖神となったと伝えられる、伝説の美少女^{たつこ}姫のブロンズ像が建つ。

^{かくの}だてぶげやしき

・角館武家屋敷通り

仙北市角館町は藩政時代の面影を残す街で「^{みちの}くの^小京都」とよばれる。見どころは町を南北に貫く武家屋敷通りで、石黒家や青柳家をはじめ多くの武家屋敷が残る。また桜の名所としても知られている。

^{だきがえ}

・抱返り溪谷

仙北市にある溪谷。溪谷の両岸には原生林で覆われた断崖と大小の滝があり遊歩道を散策しながら楽しむことができる。名前の由来は、互いに抱きかかえるようにすれ違うこととされている。

^{はつかとうげ}

・発荷峠

十和田湖の南端にある峠。標高 631m の展望台からの眺望が素晴らしく、季節によりヤマザクラ、新緑、紅葉、静まり返った冬の十和田湖など四季を通じて自然美を楽しむことができる。

【男鹿半島】

・にゅうどうざき入道崎

男鹿半島の西北端にある岬。周辺は芝生に覆われたなだらかな地形であるが、海岸線は日本海の荒波により浸食された落差 30 m の荒々しい景観である。付近には灯台がありこの岬のシンボルになっている。

・かんぼうざん寒風山

男鹿市にある標高 355 m の火山。なだらかな姿で山頂の回転展望台からは八郎瀧干拓地や鳥海山を望み、360 度の風景を楽しむことができる。また、パラグライダーの体験をすることができる。

《代表的な観光資源》

【温泉】

にゅうどうおんせんきょう

- ・**乳頭温泉郷**：仙北市の十和田八幡平国立公園の乳頭山麓に点在する七つの湯の総称。それぞれが独自の源泉を持つ。
- ・**玉川温泉**：仙北市にある温泉。ラジウムなどを含む**北投石**ほくとうせきという鉱物が産出することで知られる。
- ・**大湯温泉**：十和田湖の南の鹿角市かのしのしにある温泉。800 年の歴史があり、江戸時代には藩の保養温泉地であった。
- ・**湯瀬温泉**ゆぜ：鹿角市にある温泉。JR 花輪線に湯瀬温泉駅があり、米代川沿いの川の瀬から湯が湧いたと伝わる。
- ・**後生掛温泉**ごしょうかけ：鹿角市にある温泉。硫黄成分を多く含み、昔ながらの湯治場の雰囲気が残る 1 軒宿の温泉。

【祭り・イベント】

かんとう

- ・**竿燈まつり**：毎年 8 月 3～6 日に秋田市で行われる。竿燈を稲穂と米俵に見立て額や腰に乗せ妙技を見せる。
- ・**なまはげ**：男鹿半島で行われる行事。大晦日に鬼の面をかぶった若者が地域の家々を巡る。
- ・**なまはげ柴灯まつり**せと：毎年 2 月に真山神社しんざんで行われる。冬の観光を盛り上げるために昭和 39 年に始まった観光行事。
- ・**かまくら**：毎年 2 月に行われる横手市を代表する祭り。雪洞の中に水神を祀って子供たちが過ごす。

【特産品・名物料理】

- ・**きりたんぼ**：ご飯をつぶして、杉の棒に巻き付けて焼いた餅。肉や野菜とともに鍋料理の素材となる。
- ・**しょつつる**はたはた：鱒などの魚を熟成させて作った魚醬ぎょじょうで特有の旨味がある。鍋料理の出汁だしとして用いられる。
- ・**稲庭うどん**：湯沢市発祥の細い干しうどん。約 350 年の歴史を持つ。
- ・**榿細工**かほさいく：仙北市**角館**の伝統工芸品。桜の樹皮を用いて雑貨類を作っている。

No.5 : 宮城県の観光地



【概要】

最大の観光地は日本三景の一つの松島。

芭蕉の「松島や ああ松島や 松島や」の句でも有名で毎年 300 万人が訪れる。

東北地方第一の都会である仙台市は、松島観光や内陸の多くの温泉地への観光起点となっている。

試験対策としては、これに特産品や夏の七夕を押さえておきたい。

(代表的な観光地)

【松島周辺】

ずいがんじ

・瑞巖寺

松島にある寺院で、伊達家の菩提寺。現在の本堂などは 1609 年に伊達政宗が完成させたもので、国宝に指定されている。瓦葺の巨大な屋根は見事である。

ごだいどう

・五大堂

松島湾を望む絶景にある瑞巖寺の仏堂で、海岸に近い小島の上に建つ。陸地からは透橋すかしばしという隙間のある赤い橋を渡る。周囲が松に囲まれ、ここから見る松島湾は美しい。

【仙台市内】

・仙台城跡

伊達 62 万石の居城で別名「青葉城」。標高約 130m の高台に建てられたが、空襲により焼失し、現在一帯は青葉山公園になっている。ここにある伊達政宗の騎馬像が仙台のランドマーク的存在になっている。

あきうおおたき

・秋保大滝

太白区秋保町にある滝。仙台市街から車で1時間以内の名取川の上流にあり、幅 6 m、落差 55 m。滝見台からは新緑や紅葉の頃の景色が美しく、秋保温泉に近く、多くの観光客が訪れる。

らいらいきょう

・磊々峡

太白区あづまの秋保大滝に近い名取川にある峡谷。浸食された巨岩奇石が覆いかぶさるように迫る景観が特徴。「磊」とは石がごろごろしていることで、昭和6年に命名された。

【県北部】

・伊豆沼、内沼

登米市と栗原市にまたがる2つ湖沼。冬でも凍結しないため多くの水鳥が越冬でき、また多様な生物を育てている。1985 年にラムサール条約（特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約）に登録された。

なるこきょう

・鳴子峡

大崎市にある峡谷で屏風のような岩が数キロにわたって続く。特に秋のブナ、ナラ、カエデなどの紅葉は見事で、散策道からの眺めは絶景。全域が栗駒国立公園に含まれている。

[その他の宮城県の観光地]

・巨釜半造

気仙沼市にある唐桑半島を代表する景勝地。海食による大理石の奇岩が連続し荒々しい男性的な景観美が見られる。浜の湾入部を境として北を巨釜、南を半造とよんでいる。

・塩竈神社

塩竈市にある神社で、全国にある塩竈神社の総本社。安産守護、海上安全、大漁満足の神として信仰を集めている。本殿に向かって右側の境内には志波彦神社があり、この2社をあわせた「志波彦神社鹽竈神社」が正式名称。

《代表的な観光資源》

[温泉]

- ・秋保温泉：仙台市にある歴史のある温泉で、欽明天皇から「名取の御湯」の言葉が贈られた。
- ・作並温泉：仙台市にある歴史のある温泉で、前記の秋保温泉とともに「仙台の奥座敷」ともよばれる。
- ・鳴子温泉峡：鳴子、東鳴子、川渡、中山平、鬼首の5つ温泉の総称。源泉数は370本以上ある。
- ・遠刈田温泉：蔵王連峰の東麓にある温泉。蔵王のシンボルであるお釜（カルデラ湖）やエコラインも近い。

[特産品]

- ・ずんだ餅：枝豆をつぶして餡にした仙台を中心にした南東北の郷土菓子。
- ・笹かまぼこ：仙台の名物で、板を用いずに笹の葉の形に成型したかまぼこ。表面を焼いてある。
- ・こけし：東北地方の工芸品であり、宮城県では鳴子・遠刈田・弥治郎・作並・肘折の5系統がある。
- ・牡蠣：全国で養殖されているが、東北の発祥は宮城県の松島で歴史は約300年以上。

[祭り]

- ・仙台七夕まつり：毎年8月6～8日に行われる。伊達政宗の時代から行われている由緒ある祭り。

No. 6 : 山形県の観光地



【概要】

山形県は海に近く**出羽富士**とよばれる**鳥海山**がシンボルの庄内地方、その内陸部にある最上川の船下りで知られる**最上地方**、県庁所在地である山形市や天童市などを含む**村山地方**、県南部の米沢市などを含む**置賜地方**に分けられることがあります。

左の地図を参考に、それぞれの地域の位置や代表する観光スポットをチェックしましょう。

(代表的な観光地)

【酒田市】

• 山居倉庫

北前船によるかつての繁栄ぶりがうかがえる酒田のシンボリック存在。明治期に建てられた白壁、土蔵造りの9棟の倉庫群。背後には夏の高湿防止のために樹齢150年以上のケヤキが35本連なっている。物産館も併設。

• 本間美術館

日本一の豪農であった本間家の別邸を改装した美術館。本間家収集の古書、骨董、絵画などが展示されている。別邸庭園「鶴舞園」は国指定名勝で、四代の本間光道が築造した鳥海山を借景とする池泉回遊式庭園。

【鶴岡市】

• 致道博物館

名称は旧庄内藩の藩校「致道館」に由来し、鶴ヶ岡城崎の隣の広大な敷地に、明治初期の建築物が移築された。内部では庄内地方の民俗資料が収蔵・展示されている。

• 出羽三山神社

羽黒山、月山、湯殿山を**出羽三山**といい、明治までは修験道の山であった。三山の頂上にはそれぞれ神社があり、それらを総称して出羽三山神社という。現在もパワースポットとして人気がある。

【米沢市】

• 上杉神社

米沢城址である松が岬公園の中央に位置し、上杉謙信を祀る。謙信の養子である景勝の米沢藩への移封に合わせて謙信の祠堂も米沢に移された。現在の本殿は大正時代に再建されたもの。

【山形市】

• 立石寺 (山寺)

天台宗の寺院で通称「山寺」といい、山門から奥の院まで1015段の階段を休み休み上ると、頂上には絶景が待っている。「閑さや 岩にしみ入る 蟬の声」という松尾芭蕉の句でも知られている。

《代表的な観光資源》

〔温泉〕

- ・銀山温泉：尾花沢市にある温泉で、大正ロマンの風情にあふれている。夕暮れに石畳の歩道にガス灯が点る。
- ・蔵王温泉：山形市の東南部にあり1900年の歴史を持つといわれる。スキー場があり冬はスキー客が多い。
- ・かみのやま温泉：山形と米沢の間にある。江戸時代には上山藩があり、城下町や宿場町として栄えた。
- ・赤湯温泉：南陽市にある温泉。開湯は約900年前に八幡太郎義家の弟義綱が発見したと伝わる。
- ・白布温泉：米沢市の標高約900mの地にある温泉。開湯は約700年前で古くから湯治場として人気がある。
- ・あつみ温泉：鶴岡市の山に囲まれた地にある温泉。日本海にも近い。温海と表記することもある。
- ・湯野浜温泉：鶴岡市の日本海に面した温泉。海に沈む夕日と新鮮な魚介類が自慢の温泉地。
- ・天童温泉：天童市にある温泉で明治時代に発見された。県の中央部にあり、県内観光の拠点になっている。

〔特産品〕

- ・さくらんぼ：山形の代名詞の果物。初夏に旬を迎え、全国生産量の7割を占める。
- ・紅花べにばな：山形県の県花。江戸時代以降に栽培量が増え、紅花商人が多く存在した。染料や着色料の材料になる。
- ・洋ナシ：明治の初めにヨーロッパから伝わった。山形県はラフランスという品種の全国の6割を栽培する。
- ・将棋の駒：天童市の特産品。江戸時代に藩が製造を奨励したことに始まる。全国生産の9割を誇る。

〔祭り・イベント〕

- ・山形花笠まつり：毎年8月5～7日に行われる。紅花をあしらった花笠を手に、花笠音頭に合わせて踊る。
- ・天童桜まつり：天童市で毎年4月に行われる。人間を将棋の駒に見立てた人間将棋で知られる。
- ・芋煮会フェスティバル：山形市の秋の風物詩。河川敷に直径6メートルの大鍋で1万食以上が振舞われる。

No.7 : 福島県の観光地



【概要】

福島県は、北海道、岩手県に次いで全国No.3の面積を誇り、海沿いから順に浜通り、中通り、会津に分かれます。

観光地が多いのは自然や会津藩ゆかりの観光地のある会津地方。

中通りには全国的に知られる名湯が多い。

浜通りは、現在震災からの復興中で、残念ながら立ち入りができない地域も多い。

【会津若松周辺】

・若松城

会津のシンボルで別名「鶴ヶ城」。幕末の戊辰戦争や白虎隊の悲劇で知られる。明治期に石垣だけを残して取り壊されたが、1974年に多くの寄付によって現在の形によりみがえった。内部は郷土博物館として公開されている。

いいもりやま

・飯盛山

会津若松市街の東2キロにある、城下を一望できる小高い山。戊辰戦争の際に白虎隊が自刃した地として知られる。白虎隊士の墓や、外国から贈られた記念碑、さざえ堂、宇賀神堂などの史跡名所が残っている。

おやくえん

・御薬園

若松城（鶴ヶ城）の北東の徒歩圏にある池泉回遊式庭園。昭和7年に江戸時代の代表的な大名型山水庭園として国の名勝に指定された。戊辰戦争時は戦火に巻き込まれなかったため往時の姿をとどめている。

いなわしろこ

・猪苗代湖

福島県の中央にある日本で四番目に広い湖。湖畔には水泳場やキャンプ場があり、湖水浴や水上スポーツ、フィッシングなどが楽しめ、冬は白鳥の飛来地として多くの人でにぎわう。

ぼんだいさん

・磐梯山

猪苗代湖の北にそびえる活火山で「会津富士」とも呼ばれる。1888年に大規模な噴火があり、山体の一部が崩壊し付近の川をせき止めた。これにより桧原湖（後出）などの湖沼が形成された。

うらぼんだい

・裏磐梯

磐梯山の北側の高原地帯で、磐梯高原とも呼ばれる。湖面の色が変化する五色沼や桧原湖などの美しい湖があり、北側に広がるグレンデではスキーやスノーボードなどウィンタースポーツを楽しむことができる。

きたかた

・喜多方

かつて物資の集散地として、また会津と米沢を結ぶ街道のまちとして栄え、現在でも明治・大正期に建てられた酒蔵、米蔵、蕎麦蔵などの数多くの蔵が見られる。喜多方ラーメンを食べて街並みを散策するのが定番。

[その他の福島県の観光地]

おおうちじゆく

・大内宿

会津若松と日光今市を結ぶ下野街道（会津西街道）の宿場町として栄えた。今も茅葺屋根の民家が街道沿いに建ち並び江戸時代の面影が残っている。昭和 56 年には国選定重要伝統的建造物群保存地区に指定されている。

・あぶくま洞

田村市にある鍾乳洞で、1969 年に発見された。全長 600m の洞内に、東洋一ともいわれる種類と数の多さの鍾乳石や床下からタケノコのように堆積してできる石筍を鑑賞することができる。

・白河の関跡

白河は福島県南部の都市で、この関所跡は鼠ヶ関（山形県）・勿来関（福島県）とともに、奥州三関の一つに数えられる。大和朝廷時代に都から陸奥国に通じる東山道の要衝に設けられた。

みはるたきざくら

・三春滝桜

田村郡三春町にある、推定樹齢 1000 年超の国の天然記念物の枝垂れサクラの巨木。開花時期の4月中旬～下旬は、四方に伸びた枝から薄紅色の花が無数に咲き、流れ落ちる滝のように見える。

《代表的な観光資源》

[温泉]

- ・飯坂温泉：福島市にあり、およそ 2000 年前に日本武尊が東征の際に立ち寄ったと伝えられる歴史ある温泉。
- ・磐梯熱海温泉：郡山市にある温泉。南北朝時代、京の都の萩が難病を治したという伝説が残る。
- ・東山温泉：会津若松市の山あいにある温泉。江戸時代には会津藩の湯治場として栄えた、会津観光の拠点。
- ・芦ノ牧温泉：会津若松市にある、渓谷美と湯量豊富な天然温泉。源義経も立ち寄ったと伝わる。
- ・熱塩温泉：喜多方市にある温泉。その名のとおり熱くて塩分が多い湯が特徴。
- ・岳温泉：二本松市の安達太良山の中腹にある温泉。二本松城跡や智恵子抄で有名な智恵子の生家が近い。

[特産品]

- ・赤べこ：会津地方の郷土玩具で、赤い色の牛の首がゆらゆらと揺れる張り子人形。「べこ」とは牛の意味。
- ・三春駒：三春町一帯で作られる郷土玩具で、木彫りの馬の人形。すべて直線的に彫られていることが特徴。
- ・わっぱ飯：新潟や会津地方の名物。木の板を丸くした器（曲げわっぱ）に、ご飯や食材を入れて蒸したものだもの。

[祭り]

- ・相馬野馬追：7 月に相馬市周辺で行われる祭礼。甲冑を着た 400 余騎の騎馬武者が疾走する勇壮な戦国絵巻。
- ・二本松菊人形：毎年 10 ～ 11 月に霞ヶ城公園（二本松城跡）で行われる菊人形の展示会。毎年 20 万人が訪れる。